

〒392 長野県諏訪市四賀赤沼1844-1
 ☎(0266)58-2384(代) ファクシミリ(0266)58-2091
 取締役会長 石井 睦蔵(37回)

平成元年度同窓会決算書 平成2年度同窓会予算書

収入の部 (単位: 円)

科目	元年度決算額	2年度予算額
入会金	1,197,000	1,212,000
会費	3,990,000	4,040,000 ¹⁾
流動資産収入	3,091,955	4,700,000
記念事業繰入	0	32,857,833
繰越金	382,576	870,642
雑収入	211,926	50,000
合計	8,873,457	43,780,475

支出の部

科目	元年度決算額	2年度予算額
事務費	11,345	30,000
会議費	277,219	300,000
総会費	333,184	500,000
旅費	257,740	300,000
人件費	882,000	882,000
需要費	208,578	150,000
役務費	369,264	400,000
慶弔費	235,000	300,000
寄付金	1,000,000	0
記念品費	219,390	250,000
繰出金	2,300,000	1,700,000 ²⁾
基金繰入	1,800,000	38,000,000 ³⁾
雑費	109,095	30,000
予備費	0	938,475
合計	8,002,815	43,780,475

同窓会基本財産

(平成2年3月31日現在)

基本財産	75,080,000円
1. 自由金利型定期預金	
● 諏訪信用金庫	26,550,000円
● 八十二銀行	22,500,000円
2. 定期預金	
● 郵便局	10,000,000円
3. 有価証券	
● 商工組合中央金庫	16,030,000円

平成元年度

同窓会報特別会計決算報告

収入額	2,188,421円
〈同窓会へ一般会計よりの繰入金・広告収入等〉	
支出額	2,094,492円
〈会報14,500部印刷費・郵送料等〉	
差引残額	93,929円
〈次年度へ繰越〉	

備考 1) 終身会費10,000円×404人〈昭和62年入学生より〉
2) 会報特別会計、清陵会館維持特別会計へ
3) 同窓会基金へ

平成元年度 会務報告

る課題にこたえるべく、意を
つくし汗を流さなければなら
ないと思う次第でありま
す。同窓諸兄弟の一層のご
叱声と鞭撻を切にお願い
するとともに、同窓会のさ
らなる発展を祈願しつつ
私の挨拶とさせていただきます。
ます。

6・16 校歌収録委員会
6・27 「千万人詩碑」校庭
に建立
9・10 立川氏彫刻「ア
チメ」中庭に建立
9・25 細川氏彫刻「鐸
」前庭に建立
9・28 富士見支部総会
10・21 諏訪清陵高校校
舎改築落成記念式典(式典
実行委員会主催)
・除幕式 同窓会主催
・祝賀
11・5 諏訪清陵高校校
舎改築記念事業完成記念祝
賀総会(校舎改築記念事業
報告午後1時より 於諏
訪清陵高校講堂
参加申込者一、二二一名
(当番幹事50・51・52・55・
56回生、サブ幹事57・58・
59回生)
11・14 小講演会
演題「地球環境と諏訪湖」
講師 沖野外輝夫先生(信
州大学臨湖実験所長)
11・27 平成二年度定期総
会打合せ会
11・28 記念事業実行委員
会・記念総会運営委員会反
省

4・5 入学式
5・19 事務局会議
5・24 会計監査
5・27 校舎改築対策委
員会・(財)諏訪清陵会理
事会 山田会長ほか出席
・同窓会常任幹事会
・幹事会・校舎改築記念
事業実行委員会正副委員長
合同会議(平成元年度定期
総会提出議案審議)
5・30 同窓会報15号完成
一三、〇〇〇部発送

6・18 平成元年度定期
総会 午後1時より諏訪市
文化センター
一、議事 第一号議案「昭
和63年度会務報告・決算・
特別会計承認の件」
・監査報告
・第二号議案「校舎改築記
念事業中間報告承認の件」
・第三号議案「校舎改築記
念事業完成記念祝賀総会実
施計画承認の件」
・第四号議案「平成元年度
事業計画・収支予算案承認
の件」
全議案原案通り承認
一、支部長紹介
一、次年度総会当番幹事接
拶
・記念講演 演題「地域医
療から見た国際協力」市立
甲府病院精神内科医長 林
正高先生(56回生)
・ビデオ 上映「唐沢山に
秋長けて」双樹会
出席者15名(当番幹事56回
生、サブ幹事57・66・76回
生)

12・14 寄付者芳名簿発送
平成二年
1・17 事務局会議
2・24 役員会提出案準備
2・24 常任幹事会
・幹事会(平成元年度事業
中間報告、記念事業会計中
間報告、寄付金剰余金使途
平成二年度定期総会審議)
於清陵会館
・常任幹事・幹事・記念事業
募金委員会合同反省懇親会
3・8 第42回卒業式
(事務局長 木下芳英氏)
卒業生355名(内女子10名)
訂正しおわび致します。

P10 日東化学(株)↓日東光
学(株) 日新光機製作所(株)↓
日新工機製作所(株)カネル
↓(株)カネル P11 共有電
材工業(株)↓共友電材工業(株)
P16 (38回)上原良雄
三↓五 (38回)清水純
一↓二 P17 (43
回)堀田正弘 三↓二・
五 堀内才二・二・五↓三
P23 (52回)石井進
P25 (25
回)伊藤 広↓伊藤 弘



世界を沸かせた凄いガソリン フォーミュラシェル

昭和シェル石油特約店

株式会社 細川商店

諏訪市諏訪二丁目10番4号

☎ 本店(0266)52-3737(代)

代表取締役 細川 昭八(51回)

専務取締役 矢島 千晴(41回)

MICRO
ART.
EPSON.
ハイテクとの
正しい交際。

セイコーエプソン株式会社

〒392 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 ☎0266-52-3131(代表)

特集

あと10年で21世紀

私にとって今、そして未来

同窓生約五百四十名を抽出し、表記のテーマであなただの当面している現場からのご意見を返信用ハガキ一校二九四文字以内にてお寄せ頂いた百六十余稿が本年度特集記事である。拾い読みでなく全記事をぜひ読み通して頂きたい。同窓会は確かに母校を離れて存在し得ない。しかし同窓生にとり今どう生きるかが最重要課題である。既にこの記事を書かれたまま逝去された方も数名。限られた紙数の中になるべく多くの同窓生の声を反映すべく企画した記事のエキスを、今後の生活のご参考になればと希うや

28回80歳・小澤 素水
十一月五日の校舎改築事業完成記念総会に出席し祝賀会後昭二(二八)回生をささの湯で開催した。東京から八名計二十四名の出席のもと誠中健児の健在ぶりを発揮した。昔の男子校だった時代の風が全くと

29回78歳・笠原 延元
私たちの諏訪中学入学生試験の作文の題は、「世界の人は何故戦争をするか」でした。当時の先生たちの平和への希求が偲ばれる。二十一世紀を私は見ることは出来ないでしょうが、核のない平和と共に、文明と開発の名の下で破壊している自然の復活の世紀であって欲しいと思う。それには第二次大戦での私たち自身を反省し、自然破壊の反省が何と

30回78歳・畑 治
寒風肌をさす塩漬おろし、炎熱焼くが如き湖畔の道、時に雷雨でびしょぬれ。往復十軒、酷寒吹雪の道を外装、足袋なしの朴樹下駄がいく。大自然の試練、質実剛健の誠中魂がつつか

ご子弟の免許取得には
(東京方面の方は20日間で卒業できる合宿教習で)

長野県公安委員会指定

茅野自動車学校

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

代表取締役 矢崎 斉 男 (51回)
渉外部長 上条 雅 夫 (50回)

学校だより

伝説ある木造校舎から、全面改築から三十四年間、幾多の俊才を世に輩出したが、昭和六十三年に責を全うし現校舎へと替わった。

今年度35名(女子10名)が卒業。五月には46名(女子16名)が入学。一・二年は九クラス、三年は八クラスで合計二十六クラス一六八名、教員六二名、行政職九名と大規模になると同時に女子生徒の占める割合

20 回 台
言っている位失ってしまっている。公立だから仕方がないと言ってしまうはそれまでだが東京あたりの私立の進学校といわれる学校は男女別れている。在学三年はあまりにも短い。六三三制になってから高校時代の絆が浅く戦前からの我々の世代が消えたら同窓会も衰微する事だろう。戦前の六五制か六六制にしろ四四から進学部と短大式の専門部制にしたらと思考する。

29 回 台
激動の八〇年代を終え、安定の九〇年代を迎えるか。否！激動は二十一世紀まで続く。一九四〇年代のわが国新学制発足当時の混乱も相当なもの。混乱収拾の仕方がおざなりな為に、八〇年代からの激動がはじまった。義務就学十二年間は目前の趨勢だったから、新制中学は六年制の学校にすべきであった。新制大学は年限もなく転学交流の自由な単位取得機関とすべきだ。取りのこされる旧制中学校、即ち今の高校は性・年齢・国籍・前歴等を一さい問わず、全人類に開放された理想の教育機関とすべきである。

30 回 台
激動の八〇年代を終え、安定の九〇年代を迎えるか。否！激動は二十一世紀まで続く。一九四〇年代のわが国新学制発足当時の混乱も相当なもの。混乱収拾の仕方がおざなりな為に、八〇年代からの激動がはじまった。義務就学十二年間は目前の趨勢だったから、新制中学は六年制の学校にすべきであった。新制大学は年限もなく転学交流の自由な単位取得機関とすべきだ。取りのこされる旧制中学校、即ち今の高校は性・年齢・国籍・前歴等を一さい問わず、全人類に開放された理想の教育機関とすべきである。

会の皆様に心より厚くお礼申し上げます。特に各種研究会や学級会の活動、夏季クラブ合宿の場として三沢文庫、同窓会館は自慢の一つである。環境のハード面は完備した。後はソフト面で如何に効果を上げるかが課題である。四月の新聞紙上に「重なる寄贈に大喜び」との記事があった。諏訪清陵会や諏訪清陵会OBやPTAから計六艇の寄贈が重なることを報じたもので学校としても感謝に耐えない。単に皆様がボートに対して強い愛着があるためばかりでなく、清陵生よ、文武両道を全うせよ、今が立つときぞ。」のご叱正のラブコールと認識しております。

今年度35名(女子10名)が卒業。五月には46名(女子16名)が入学。一・二年は九クラス、三年は八クラスで合計二十六クラス一六八名、教員六二名、行政職九名と大規模になると同時に女子生徒の占める割合

29 回 台
激動の八〇年代を終え、安定の九〇年代を迎えるか。否！激動は二十一世紀まで続く。一九四〇年代のわが国新学制発足当時の混乱も相当なもの。混乱収拾の仕方がおざなりな為に、八〇年代からの激動がはじまった。義務就学十二年間は目前の趨勢だったから、新制中学は六年制の学校にすべきであった。新制大学は年限もなく転学交流の自由な単位取得機関とすべきだ。取りのこされる旧制中学校、即ち今の高校は性・年齢・国籍・前歴等を一さい問わず、全人類に開放された理想の教育機関とすべきである。

卒業生進路状況						
	進 学			就 職		合計
	希望者	進学者	%	希望者	就職者	
平成2年3月	355	150	42.3	0	0	355
〃元年3月	343	165	48.0	2	2	345

本との出会い 豊かな心

ほたるき 螢フックセンター

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

茅野市宮川坂室5299番地 ☎(0266)72-4111

われる。当時の先生は高邁 同団結、地球の保全に全敬の識見と信念をもって指導 智を傾けなければ、青き地球は衰微し灰色に死滅するの鶴岡、国語の河西、地理外ない。それだけの教習をの三沢、博物の牛山、英語人類は示す事が出来るか。の窪田、数学の三輪の諸先生は今なき。回顧六十年、来世紀が最後の審判の世紀生今はなし。回顧六十年、先生が顔を彷彿。お別れしてから幾年かの後、菊地先生を訪問する。屋根裏部屋で回顧談、一詩

31回79歳・今村 義雄 組友池田生二君の一人芝居「芭蕉異聞」が、去る六月銀座小劇場で行われた。芭蕉の弟子辻立ち路通のいであちで、芭蕉の女性関係でたて、この歳でたつた一人で一時間半の熱演。彼は卒業と同時に昔の新築地劇団入団。大先輩作家故藤森成吉氏の愛弟子。その頃同じく同劇団に入団の阿木翁助こと安達鉄翁君は、シナリオや演出で名をなして今では日本放送作家協会理事を求めて飽く事知らず、文に第三十四回直木賞の「強力伝」で文名を馳せた故新田次郎と藤原寛人君、小生とて今井潤の筆名で日本文芸家協会の会員でもはした。来世紀はこの対立を越え抗争を脱し世界人類が大

31回77歳・宮坂 水穂 二十一世紀の最重要課題は地球の環境問題。人口爆発の結果二十一世紀初頭百億人の大台にのちがいがいない。欲望は便利と快適を求めて飽く事知らず、文明の怪物は母なる地球を汚染し破壊して止まらない。二十世紀は国家と民族と資本と宗教とイデオロギーの対立抗争の愚行に明け暮れた。来世紀はこの対立を越え抗争を脱し世界人類が大

31回77歳・宮坂 水穂 二十一世紀の最重要課題は地球の環境問題。人口爆発の結果二十一世紀初頭百億人の大台にのちがいがいない。欲望は便利と快適を求めて飽く事知らず、文明の怪物は母なる地球を汚染し破壊して止まらない。二十世紀は国家と民族と資本と宗教とイデオロギーの対立抗争の愚行に明け暮れた。来世紀はこの対立を越え抗争を脱し世界人類が大

31回77歳・宮坂 水穂 二十一世紀の最重要課題は地球の環境問題。人口爆発の結果二十一世紀初頭百億人の大台にのちがいがいない。欲望は便利と快適を求めて飽く事知らず、文明の怪物は母なる地球を汚染し破壊して止まらない。二十世紀は国家と民族と資本と宗教とイデオロギーの対立抗争の愚行に明け暮れた。来世紀はこの対立を越え抗争を脱し世界人類が大

33回76歳・五味 一 世の中はまさに豊かさがあふれているが老人の入院は病院に捨られたような姿がみられるし、特老に入っていたおばあさんが入院死して家に連絡すると娘は先ず特老に走り病院は二の次であつたりして人情はだんだん死んでゆくようになって。医療も科学の進歩により検査が機械化され検査づけと言われ、細分化もすみ全身的に診ることが少く患者との対話が不足。人間疎外のもと。超高齢化社会には人間の回復と全人的診療をおしすすめてむの自然の人生にかえるようにしたい。

33回74歳・太田 隆 今基礎教育の充実こそ肝要。個性的な、世界に通用する日本人を育成する。そのため小中高校を通して一教室の生徒数を現状より十名以上減少させ、教育機器を大幅に取り入れ、個人指導を徹底させる。教育課程の弾力性を強め、個性のあが、音楽を教えない」と本邦音楽教育に関して述

33回75歳・濱 弘人 導を徹底させる。教育課程の弾力性を強め、個性のあが、音楽を教えない」と本邦音楽教育に関して述

31回77歳・藤森 傳衛 昭和の初めより終戦頃までは我々は乏しさに耐えてきた。今や豊かに耐えねばならない。このことは二十世紀まで当分のうち続く形勢だ。豊かに耐えることは乏しさに耐えることよりむずかしい。充分なる知識と信念がなければ流されてしまふ。余程の覚悟がなければならぬ。

31回79歳・茅野 光英 校舎の全面改築工事が立派に完成をみた事は、同窓会員の諸兄及在校生父兄のご努力の賜物であること、を、在校生諸君には感激と報恩の心をもつて立派な社会人となられる様、勉学に励まれ、心身共に立派な学生となつてほしい。

31回76歳・小尾 郊一 ツットとして「千万人と雖も吾ゆかん」と言う人材の輩出を希望するが、衆に寄る事のみが総てでわれない。人生は長い勉強であり、豊かな学識と経験を積み広く社界につくされんことを。

33回75歳・柳田 呈也 最近は何かににつけて、「心」が言々される時代。国際のな枠を外れて、政治、経済、文化、芸術、教育、日常生活に至る迄「心」が問われている。数年前のこの、ウィーン市立音楽大前学長エルヴィン・ヴァイス教授は、其の年のウィーンでのN響の演奏について「聴いて楽しくないのは音楽とは言えない」と、厳しい感想を私にもらした。又長年芸大教授であつた名ピアノスト、ハンス・カン教授は「日本ではピアノは教えるが、音楽を教えない」と本邦音楽教育に関して述

34回73歳・矢崎 孟伯 着眼大局着手小局をやる民族でありたい。

31回77歳・藤森 傳衛 昭和の初めより終戦頃までは我々は乏しさに耐えてきた。今や豊かに耐えねばならない。このことは二十世紀まで当分のうち続く形勢だ。豊かに耐えることは乏しさに耐えることよりむずかしい。充分なる知識と信念がなければ流されてしまふ。余程の覚悟がなければならぬ。

31回76歳・北澤弥吉郎 この二十年余、子供の本性を基盤とする教育を追究し、ささやかな実践も続けできた。モデルを英国の例に見るとき、日本との間に天地の隔りがある。教育革新に関する答申を比較すると英米においては総て基盤に子供が在るのにわが国には不在。僅かに個性の掛声がしたのみ。最近東欧諸国では政治革新の大波がうねっているが、わが国の教育において、子供に根ざす革新の波が現場に現われることを祈願している。昨年来公職から離れたのを機に、

32回76歳・青木 清 諏訪中時代の懐かしい思い出は、三沢勝衛先生ご自身で調べられた郷土地理のお待たしい。これは老年に達

33回75歳・岩井 真澄 △温暖化海高くしてオランダは世界地図から消え去らんとか △びんぴんと幼児誘拐殺人と狂はしくも世は病みたるか

34回76歳・伊東 一夫 日本人への希望 一、みどりを愛し、保護する民族でありたい。 二、自由を愛し、自由のために、たたかう民族でありたい。 三、権力に盲従せず、弱者をいたわり支える民族でありたい。 四、目先のことにとらわれず遠くのこと心にやる民族でありたい。

ご家庭に健康と美とくらしのリズムをつくる

ドラッグストア スキヤ薬局

代表取締役社長 牛山 充正 (51回)
牛山 直秀 (89回)

■本社所在地 〒392 長野県諏訪市諏訪2丁目1-5

本 部：(〒392) 長野県諏訪市諏訪2丁目1-5
電話 諏訪 (市外局番0266) 52-0588

岡 谷 店：(〒394) 長野県岡谷市本町2丁目2-19
電話 岡谷 (市外局番0266) 23-8486

茅 野 店：(〒391) 長野県茅野市塚原2丁目1-1
電話 茅野 (市外局番0266) 73-2971

岡谷東店：(〒394) 長野県岡谷市若宮2丁目5-3
電話 岡谷 (市外局番0266) 22-9833

商品センター：(〒394) 長野県岡谷市若宮2丁目5-3
電話 岡谷 (市外局番0266) 22-9833 岡谷東店2F

研修センター：(〒392) 長野県岡谷市本町2丁目2-19
電話 岡谷 (市外局番0266) 23-8486 岡谷店2F

諏 訪 店：(〒392) 長野県諏訪市諏訪2丁目1-5
電話 諏訪 (市外局番0266) 52-0315

下諏訪店：(〒393) 長野県下諏訪町中央通り241
電話 岡谷 (市外局番0266) 28-4147

五、自分の力だけで生きようと思わず、手をとりあう、生かされているという思いで生きてゆく。民族でありたい。君に逢いて酒を求め、因りて酔を成す。花発げば風雨多く、人世別離此高吟に盡さん

◆ 34回 74歳・金子 功
校舎改築記念総会では久調を謝し、感激を深めた。吾らの学んだ校舎は無くても学年進行とともに替った教室の位置、恩師など思い出されて懐かしい。

◆ 35回 72歳・牛山 悦男
去る十月三日、清陵東京支部同窓会」の折、昔は校内を裸足で歩き回ったという話が出た。自宅に帰って六〇年位前の写真を見たら、裸足であった。

◆ 今日、学校教育には校内暴力長期欠席等沢山の問題がある。私の勤めている食品研究所ではパソコンを利用した技術研究の文庫探しは簡単に行っている。

◆ 従来、文庫は専門外でもなんと理解出来たが今専門外のものには理解出来なくなつた。急速な進歩を感じながら、その半面「人間性」にかかわる重要な問題とは残り残されている。この傾向は本だけでなく世界共通の問題である。二十一世紀へ向う時の一つの課題でもある。

◆ 36回 72歳・金子 敏
諏中五年の時、はつきり想い出すのは、休み時間、三沢先生が本を読みながら廊下の外を歩いて行かれた姿である。哲学者アユイは、人間には探求心という本性があると云った。あの時の姿は先生の全人格の表われであった。私が勤務校を定年で辞めた時、英語の層の御支援を仰ぎたく、こ

◆ 36回 73歳・小口 達美
学生寮長善治は明治二十四年、当時の諏訪青年会現在、財団法人諏訪郷友会の方達から育英事業として設立された学生寮です。明治、大正、昭和、平成、と「激動の百年」多数の諏訪人の支えにより、よく風雪に堪えて参りました。私達は、ここに百年の齢を寿ぐと共に、引き続き郷里の子弟の為に、この寮の維持発展を行かねばならぬと思つております。同窓会の皆様の層の御支援を仰ぎたく、こ

◆ 36回 71歳・名川 方敏
卒業してから五十余年を経過して人生の晩年を迎えるこの頃、人生について関心をもつようになつた。人生において最後に「厄介に

◆ 36回 72歳・井上 雅夫
少産少死の時代となり、医学の進歩は、出産死亡率の低下を謳歌しているが、出産前に障害を持った児が救命され、生涯要介助児者として生存する。老人問題と同様であるが、全体からみれば少数であり一般には無関心である。小児の医学的リハビリにたずさわる医師として心が痛む。

◆ 37回 71歳・金子 恭之
十一月の校舎改築記念総会と、それに続く祝賀会は

河西 勇事務所

諏訪清陵会(ボート部OB)会長 (55回)

河西 寿恵 (83回)
河西 かおり (85回)
河西 美和 (91回)

諏訪市湖岸通り4-8-7 (河西ビル)

☎ (0266)58-5315
FAX (0266)53-2498

士 調査士
書 調 査 士
法 家 屋 調 査 士
司 地 保 險 士
土 社 会 政 行

◆ 34回 74歳・金子 功
校舎改築記念総会では久調を謝し、感激を深めた。吾らの学んだ校舎は無くても学年進行とともに替った教室の位置、恩師など思い出されて懐かしい。

◆ 35回 72歳・牛山 悦男
去る十月三日、清陵東京支部同窓会」の折、昔は校内を裸足で歩き回ったという話が出た。自宅に帰って六〇年位前の写真を見たら、裸足であった。

◆ 今日、学校教育には校内暴力長期欠席等沢山の問題がある。私の勤めている食品研究所ではパソコンを利用した技術研究の文庫探しは簡単に行っている。

◆ 従来、文庫は専門外でもなんと理解出来たが今専門外のものには理解出来なくなつた。急速な進歩を感じながら、その半面「人間性」にかかわる重要な問題とは残り残されている。この傾向は本だけでなく世界共通の問題である。二十一世紀へ向う時の一つの課題でもある。

◆ 35回 73歳・米澤 義雄
二十一世紀を迎える迄に全地球的規模に於て想像する絶する各種の苦難が次々と起つて来ることを知つている人々は未だ算ないかも知れぬ。人間の物質的欲望への知識オンリーに起因する大気・水・其他科学的物質の汚染等は、個人を問わずエゴに固つた人間同志の話し合いでは解決出来ない世和未的状态に追い込まれ

◆ 35回 72歳・渡辺 長雄
教育は社会の重要事。日本の近代化も戦後の繁栄も、すべて教育の基礎の上に花開いたが、目下の教育制度等にははるむ問題は多し。諏中時代の教育はすばらしく、あれだけでも、きびしい社会を生き抜く活力が授けられたと思う。今や新装成つた校舎で「温故知新」、来世紀に向けての進取の気性を磨いて頂きたい。ただ、「自反而縮」の部分で、独自の嫌いがあつた、と自省している。人間(会社)の調和が大切。経済力が強いだけに、文化面との調和、生きて世に木の芽の山をよ

◆ 36回 71歳・石壁正一郎
友来る

◆ 36回 71歳・柳平 千彦
地域に尽くす人づくりを、諏訪は製糸業、精密工業、ハイテク産業へと物づくりで世界的に活躍してきた。そのかぎには諏訪の風土、

◆ 36回 72歳・五味 連
諏訪人の気質、人物などが深くかわつてきた。今や諏訪のまちづくりの中心テーマ「諏訪湖の浄化」一つとなつて臨まなくては根本的に解決しない。各地域が、ばらばらで物づくりだけに専念しているだけでは、来世紀にむかい地域住民の生活の質を高め、潤い

◆ 35回 72歳・両角 克夫
清陵高校(旧諏訪中学)のモットーは「自治。自治は克己と責任感の上に成立する。」

◆ 35回 72歳・井上 雅夫
少産少死の時代となり、医学の進歩は、出産死亡率の低下を謳歌しているが、出産前に障害を持った児が救命され、生涯要介助児者として生存する。老人問題と同様であるが、全体からみれば少数であり一般には無関心である。小児の医学的リハビリにたずさわる医師として心が痛む。

◆ 37回 71歳・金子 恭之
十一月の校舎改築記念総会と、それに続く祝賀会は

◆ 35回 72歳・渡辺 長雄
教育は社会の重要事。日本の近代化も戦後の繁栄も、すべて教育の基礎の上に花開いたが、目下の教育制度等にははるむ問題は多し。諏中時代の教育はすばらしく、あれだけでも、きびしい社会を生き抜く活力が授けられたと思う。今や新装成つた校舎で「温故知新」、来世紀に向けての進取の気性を磨いて頂きたい。ただ、「自反而縮」の部分で、独自の嫌いがあつた、と自省している。人間(会社)の調和が大切。経済力が強いだけに、文化面との調和、生きて世に木の芽の山をよ

◆ 36回 71歳・石壁正一郎
友来る

◆ 36回 71歳・柳平 千彦
地域に尽くす人づくりを、諏訪は製糸業、精密工業、ハイテク産業へと物づくりで世界的に活躍してきた。そのかぎには諏訪の風土、

◆ 36回 72歳・五味 連
諏訪人の気質、人物などが深くかわつてきた。今や諏訪のまちづくりの中心テーマ「諏訪湖の浄化」一つとなつて臨まなくては根本的に解決しない。各地域が、ばらばらで物づくりだけに専念しているだけでは、来世紀にむかい地域住民の生活の質を高め、潤い

田中貴金属特約店・銀座山崎提携店
宝飾品・時計・メガネ・高級ギフト・AVソフト

ヤマザキ

本店 諏訪市諏訪1-3-11 ☎(0266)52-5200代

代表取締役 山崎 壮一 (51回)
専務取締役 山崎 俊一 (80回)
取締役 原 英充 (65回)
監査役 山崎 澤子 (56回)

感激であった。千数百名の熱気に包まれ、血のたぎるの覚えた。在校生の吹奏楽演奏の真剣な姿に、心にこみあげてくるものがあった。第十八回生という大先輩のピンと伸びた背筋と朗々たる音階には、六七十歳台で年寄りじみたことをいつている後輩達を叱咤させる気概があった。数年前に煙にりんこの苗木を植えていた時、それがなる迄生きのびたかえ、と冗談にからかわれた。その木には沢山の大きな実が真赤に輝いてる。今日は又、改植用のりんこの苗木十本の注文書を送った。

◆
37回70歳・大和 千春
情報過多に敗けるな!! 高度情報化は生活の高度化ではない。単に情報伝達が高度化されただけで、情報過多は生活を低落させる。過剰なものを吸収すれば吐き出す下痢症状を惹起する。情報の善悪を心して受取らねばならぬと言うことだ。若い人がシラケるの情報は過多で自分を守り切れないからだ。自分で情報を制限して大切なものを取り、味生き方が見える。直されるべきではないか。

◆
37回70歳・木川 達爾
「知得と体得の調和」教育の目的は、人格の完成をめざすにあるが、その特徴とするところが、自己支配と自己統御にあるとされることから、その目的を達成するためには、体験を通して学ぶ体得と、日々の授業による知得との調和が必要である。現状は、知得優先、知得一本槍の傾向が見られ、価値優先の教育が進行。体で学ぶという経験が手薄になっている。現状では、生きることの知恵とエネルギーとしての生活力を高めることがますます重要になる。理

◆
38回68歳・立木 正純
第一回諏訪湖マラソン記念大会が盛大に開催された。大正四年諏訪中学校体操教師山本喜市先生により「五里五里」の諏訪湖一周が創始され、教え子の五味元喜、増沢善之助、大堀高志氏等が精神を継承、諏訪湖一周大会を催したが、何れも交通事情で中止になった。清陵は伝統を守り悪条件の中諏訪湖一周を続けている。「諏訪湖走友会」の結成で今回の大会促進が計られたが山本先生の教育理念によるもので優秀教師群の中には是非山本先生を加えて出来得れば「顕彰碑」の建立が望ましい。信号機の無い体育学上効果ある「諏訪湖ライン」の完成は間近。清陵生ばかりでなく諏訪圏の高校は蓄積されたエネルギーを発散すべく此ラインへの殺到を確信する。

◆
38回70歳・小松 雅雄
近時、自動車の中に諏訪中校歌を高吟すること多し。その美文なるに感動し、そこに詠われし自然の美しき姿今は失われしを悲しみかつ怒り、また、腐その奴らに夢を打破し理想の花を求めし先人の志高きを敬するの情愈々強し。諏中理想主義の炬火にわが煩江湖す。

◆
38回70歳・樋口 安久
二十世紀の初期に生を受けた私達は世界大恐慌から始まり戦争敗戦焦土からの復興と、未曾有の歴史を生きてきた。終戦から既に半世紀。馬車馬のように働いてホツと顔を上げてみた風潮が強くなり、人間としての生き方に暗い陰を投じての生きている。個の尊重も合理主義も科学の発展も必要であり大切なことであるが、お互いに思いやりの心をつくしみ合う心無くして社会は衰へる。

◆
38回69歳・甲田 和衛
三〇年在职した大阪大学を定年退職し、五八年新設の本部を千葉市におく放送大学に移り、今日にいる。放送大学の電波が届く地域はまだ関東地区に限られ、地区外では甲府市とともに

◆
38回70歳・小島与四男
自己統御にあるとされることから、その目的を達成するためには、体験を通して学ぶ体得と、日々の授業による知得との調和が必要である。現状は、知得優先、知得一本槍の傾向が見られ、価値優先の教育が進行。体で学ぶという経験が手薄になっている。現状では、生きることの知恵とエネルギーとしての生活力を高めることがますます重要になる。理

◆
38回70歳・八幡 栄一
現実を求め、志ある人々と談話すべく私塾的なものも、他に、時に応じ社会の中学校卒業の頃三沢勝衛先生に「君達、紀元二千年までは生きろよ」と言われたことを思い出す。今その意味がわかるような気もする。半世紀の間、科学技術の進歩はものすごく思いもよらなかった世の中になった。尚あと十年間の進展も予想に余る。物質生活は飛躍的に豊富で楽になったが、物欲は限りなく、自分がなければい、といった風潮が強くなり、人間としての生き方に暗い陰を投じての生きている。個の尊重も合理主義も科学の発展も必要であり大切なことであるが、お互いに思いやりの心をつくしみ合う心無くして社会は衰へる。

例外的に諏訪地区で、とくにL・C・Vの御協力をいただき、上諏訪駅前放送大学諏訪地区学習センターを設置。五〇余年振りで校舎完成記念会と三八同級会に出席、往時を偲びました。あと二〇年で、二十一世紀に、放送大学も通信放送衛星による全国化を目標にしております。一〇年先の諏訪地区学習センターの発展を頭に描きながら、皆様の御支援の程を切に御願います。

◆
38回70歳・諏訪 彰
「地震・火山列島の診察」命ある限り、この道一筋に徹していきたい。私の少年時代からの天職と信じている。火山や温泉に富んだ信州で、科学教育が盛んだった旧制諏訪中学で育まれた私が、志を立てたのは二年年生の頃だった。

◆
39回69歳・吉澤 千明
大正生まれの私共の青年は、日本を世界史の行方に

◆
38回69歳・小口源一郎
「少年よ、大志を抱け」と、学生時代を戦争の最中札幌で過ごし、終戦後日本に再建時代は信州大学の創設に二十年、木曾谷に医療の灯を」とおだてられ、県立木曾病院の開院に十二年、引き続いて現昭和伊南総合病院の再建に十五年、「人生至るところに酒場あり」と、言わば医療の線路坑夫として放浪し、「ついの栖もない始末」。私達は昭和にかけた波乱の七〇年を平成時代で締めくくることが、青春とは年齢でなく心の持ち方「最大多数の最大幸福」を実現したいし、世界のユートピア、二十一世紀の日本を是非見たい。医学を通して「唯一隅を照らせ」を守って、余命を悔いの無い充実したものになりたい。

◆
39回68歳・茅野 和雄
僕ら古い技術者が想像もしなかった高度な科学技術が登場してきた時代である。その結果日本には、新しい文明の創造が、質と量にわたる経済の発展がもたらされた。一方で物心にわたる価値観の大混乱が生じた。強大となった経済は、日本を世界史の行方に

◆
38回69歳・小松 良秀
会社は本年商四〇億。二十一世紀初頭までには年商八十億位の販売をし、社員も現在約七十名位ですが一〇〇名位の商社としての大企業に成長して欲しい。その頃まで自分が建在かどうか分かりませんが、長女は勿論現在嫁に行っており、三人居りますが、皆大学高生になつていて、現在勤めている会社の中堅幹部として頑張っている。楽しみます。

高度情報化社会のアキレス腱

不用電磁波障害防止(EMC)に盡くす



EMC技術の明日をひらく

DENKENSEIKI

株式会社

電研精機研究所

〒203 東京都東久留米市八幡町1-4-21 ☎ 0424-73-3745(代)

FAX 0424-74-0613

代表取締役 矢ヶ崎昭彦 (47回)

39 回 68 歳・小泉 憲市
二十一世紀を目前にし、私を
励ましてくれた同級諸兄と
語り合い、東京では同窓先
輩の指導を賜りながら仕事
の合間をぬき雑踏にもまれ
時流を追いかけてみたい。
三十分で帰省できるリニア
モーターカーに乗れる日を
夢みつつ、人情あふれる下
町の姿に目をみはるこの
頃です。

39 回 69 歳・今村 泰美
極高層の極平
境を活用し、よき伝統も生
かしつつ、新時代に飛躍す
る清陵の姿を望んで止まな
い。
無心者自近也
菜根譚の一節である。
学校教育に、教育行政に
携わった年月を顧みて、そ
の時々を即して「あたりま
えのことをあたりまえに」
と勤めたが、不十分であつ
たなと恥ずかしい限り。
社会の現状は、あたりま
えのことができていなくて
と思うがどうだろう。人間
としてあたりまえとは何か
を見定め、世界平和・人類
の幸福を願いつつ、足もと
のあたりまえのことを無心
に努めていきたい。

39 回 68 歳・矢崎 貞次
金融自由化が加速され、
信用金庫をとりまく経営環
境は厳しさを増してきた。
地元繁栄のお手伝い、をモ
ットーに質の良い資金供給
と質の高いサービスに努め
たい。二十一世紀にふさわ
しい新店を隅田川畔両国
に建築し、創立七十周年を
迎えたい。第一線を退いた
週末は八ヶ岳を一望でき
る茅野で憩いを取り、私を
励ましてくれた同級諸兄と
語り合い、東京では同窓先
輩の指導を賜りながら仕事
の合間をぬき雑踏にもまれ
時流を追いかけてみたい。
三十分で帰省できるリニア
モーターカーに乗れる日を
夢みつつ、人情あふれる下
町の姿に目をみはるこの
頃です。

40 回 67 歳・北原 貞吉
中学時代、岡谷からの汽
車通学だった。中学生は、
男子が前、女子が後の車輪
を踏んで、皆軍中で、勉強
するの習慣だった。今日、
列車の中の高校生で教科書
を開いて勉強する姿は、ほ
とんどない。特に帰りの列
車内で、アイスやジュース
片手は、まだよい方、タバ
コをふかす生徒もみられ
る。話題も、遊びか男女関
係のこと。昔は昔今は今。
時代が違ふんだ。「何でも
人生勉強青春はのびのび
と」「テスト勉強なんか本物
でない」……理くつはいく
れでよいだろうか。
40 回 68 歳・土橋 久男
「いつか来た道」
去る六月をもって昭和二
十二年以来たずさわった商
社マンとしての生活を終
え、パキスタンという五千
年の歴史をもつ古くて新し
い国との交流にかかわり同
国の工業の近代化に腐心し
てゐる。社会人になる時に
大学の指導教授から「工業
化こそ日本が人口を吸収し
将来に生きる道」との言葉
は今も耳に鮮か。昭和三十
年のガット体制への加入に
て日本は今日の経済的高さ
を構築したが、数学でい
えば五千億ドルの黒字国。世
紀末に一兆ドルにもなろう
か。軍備と同じで危険な数
字となるが、今度こそ日本
人は経緯と英知を駆使して
うまくやれよう。
40 回 69 歳・藤森 治幸
世紀末といふは何か暗い
イメージ。そんな雰囲気は
全く感じられない二十世紀
末平成と改元され期待は、
政治、経済、社会の各方面
で大きくふくらんでいる。
二十一世紀を迎える時は八
十歳。高齢化社会とはい
え足腰が丈夫でいるだろ
うか。自己管理につとめ健
常に二十一世紀の初日を仰
ぎたいと思います。職業は博
物館関係、趣味は詩歌朗吟
の道に毎日精進し社会教
育、文化向上にささか努
力しています。二十一世紀
を迎えた時、若い人達と隔
てなく交流できることを夢
見ています。清水ヶ丘も伝
統と若々しさの共存する素
晴らしい学園であらう。

41 回 67 歳・小口 勝
二年前に体調を崩し、目
下療養中。目下最大の課題
は、「二十一世紀の空気を呼
吸できるか」である。大方
の「同期の仲間」はゆとり
を持って世紀突破の祝杯を
挙げ、二世紀にかけて生き
抜く感慨を分かちあえる筈。
今世紀最大の特徴は、やは
り東西の対立、共産対資本
の社会体制の相対ではな
かったか。二年間のソ連抑留
生活の中で、ナマの姿を垣
間見ようと各種作業にとび
込んでいった青春時代。最
近の東欧の変革をみるにつ
き、一つの結論が、世紀末
な気がしているから実にい
い気ものだ。三〇年四〇
年、生きる心算かと、問わ
れば、当然首を傾げてし
まう。
今の若い者は等と言って
も、良いにつけ、悪いにつ
け、次の時代を背負い背負
わされるのは今の若者だ。
年配者が次の時代に対して
出来る事はこの若者への考
え方、生き方のアドバイス
くらいではなからうか。

41 回 67 歳・小林 瀧登
一クラスに近い物語者を
出した四十一回世代は痛恨
胸を噛む時代体験を反面教
師とし復興の時代を構想し
た。出陣学徒世代は又復興
の担手でもあった。七十周
年の境として、働き過ぎの
批判が海外から寄せられて
きた。戸惑いたじろぎ反発
した。事未だ成らずのほむ
らの思の故に。今日の精華
を前に二十一世紀を指呼の
間にするに及んで、人生の
活生期を昭和史に刻み込
だ世代には、次世紀を構想
する力は最早ない。言える
事は痛恨の体験が風化する
事なく受け継がれるならば
民族の命運に関する世紀の過
を犯す事はないであろうと
いう事である。九條はわだ
つみ世代による新世紀への
大いなる遺産である。

41 回 66 歳・柳沢 武康
漠然と時流に身を置き、
ひたすら流されまいとのみ
あがき続けている私には、
二十一世紀への展望はあま
り意味をもたない。
私にも近未来に向けての
非願はある。今、人心荒廃
している。社会人になる時に
大学の指導教授から「工業
化こそ日本が人口を吸収し
将来に生きる道」との言葉
は今も耳に鮮か。昭和三十
年のガット体制への加入に
て日本は今日の経済的高さ
を構築したが、数学でい
えば五千億ドルの黒字国。世
紀末に一兆ドルにもなろう
か。軍備と同じで危険な数
字となるが、今度こそ日本
人は経緯と英知を駆使して
うまくやれよう。
40 回 69 歳・藤森 治幸
世紀末といふは何か暗い
イメージ。そんな雰囲気は
全く感じられない二十世紀
末平成と改元され期待は、
政治、経済、社会の各方面
で大きくふくらんでいる。
二十一世紀を迎える時は八
十歳。高齢化社会とはい
え足腰が丈夫でいるだろ
うか。自己管理につとめ健
常に二十一世紀の初日を仰
ぎたいと思います。職業は博
物館関係、趣味は詩歌朗吟
の道に毎日精進し社会教
育、文化向上にささか努
力しています。二十一世紀
を迎えた時、若い人達と隔
てなく交流できることを夢
見ています。清水ヶ丘も伝
統と若々しさの共存する素
晴らしい学園であらう。

40 回 台

40 回 67 歳・北原 貞吉
中学時代、岡谷からの汽
車通学だった。中学生は、
男子が前、女子が後の車輪
を踏んで、皆軍中で、勉強
するの習慣だった。今日、
列車の中の高校生で教科書
を開いて勉強する姿は、ほ
とんどない。特に帰りの列
車内で、アイスやジュース
片手は、まだよい方、タバ
コをふかす生徒もみられ
る。話題も、遊びか男女関
係のこと。昔は昔今は今。
時代が違ふんだ。「何でも
人生勉強青春はのびのび
と」「テスト勉強なんか本物
でない」……理くつはいく
れでよいだろうか。
40 回 68 歳・土橋 久男
「いつか来た道」
去る六月をもって昭和二
十二年以来たずさわった商
社マンとしての生活を終
え、パキスタンという五千
年の歴史をもつ古くて新し
い国との交流にかかわり同
国の工業の近代化に腐心し
てゐる。社会人になる時に
大学の指導教授から「工業
化こそ日本が人口を吸収し
将来に生きる道」との言葉
は今も耳に鮮か。昭和三十
年のガット体制への加入に
て日本は今日の経済的高さ
を構築したが、数学でい
えば五千億ドルの黒字国。世
紀末に一兆ドルにもなろう
か。軍備と同じで危険な数
字となるが、今度こそ日本
人は経緯と英知を駆使して
うまくやれよう。
40 回 69 歳・藤森 治幸
世紀末といふは何か暗い
イメージ。そんな雰囲気は
全く感じられない二十世紀
末平成と改元され期待は、
政治、経済、社会の各方面
で大きくふくらんでいる。
二十一世紀を迎える時は八
十歳。高齢化社会とはい
え足腰が丈夫でいるだろ
うか。自己管理につとめ健
常に二十一世紀の初日を仰
ぎたいと思います。職業は博
物館関係、趣味は詩歌朗吟
の道に毎日精進し社会教
育、文化向上にささか努
力しています。二十一世紀
を迎えた時、若い人達と隔
てなく交流できることを夢
見ています。清水ヶ丘も伝
統と若々しさの共存する素
晴らしい学園であらう。

41 回 67 歳・小口 勝
二年前に体調を崩し、目
下療養中。目下最大の課題
は、「二十一世紀の空気を呼
吸できるか」である。大方
の「同期の仲間」はゆとり
を持って世紀突破の祝杯を
挙げ、二世紀にかけて生き
抜く感慨を分かちあえる筈。
今世紀最大の特徴は、やは
り東西の対立、共産対資本
の社会体制の相対ではな
かったか。二年間のソ連抑留
生活の中で、ナマの姿を垣
間見ようと各種作業にとび
込んでいった青春時代。最
近の東欧の変革をみるにつ
き、一つの結論が、世紀末
な気がしているから実にい
い気ものだ。三〇年四〇
年、生きる心算かと、問わ
れば、当然首を傾げてし
まう。
今の若い者は等と言って
も、良いにつけ、悪いにつ
け、次の時代を背負い背負
わされるのは今の若者だ。
年配者が次の時代に対して
出来る事はこの若者への考
え方、生き方のアドバイス
くらいではなからうか。

41 回 67 歳・小林 瀧登
一クラスに近い物語者を
出した四十一回世代は痛恨
胸を噛む時代体験を反面教
師とし復興の時代を構想し
た。出陣学徒世代は又復興
の担手でもあった。七十周
年の境として、働き過ぎの
批判が海外から寄せられて
きた。戸惑いたじろぎ反発
した。事未だ成らずのほむ
らの思の故に。今日の精華
を前に二十一世紀を指呼の
間にするに及んで、人生の
活生期を昭和史に刻み込
だ世代には、次世紀を構想
する力は最早ない。言える
事は痛恨の体験が風化する
事なく受け継がれるならば
民族の命運に関する世紀の過
を犯す事はないであろうと
いう事である。九條はわだ
つみ世代による新世紀への
大いなる遺産である。

41 回 66 歳・柳沢 武康
漠然と時流に身を置き、
ひたすら流されまいとのみ
あがき続けている私には、
二十一世紀への展望はあま
り意味をもたない。
私にも近未来に向けての
非願はある。今、人心荒廃
している。社会人になる時に
大学の指導教授から「工業
化こそ日本が人口を吸収し
将来に生きる道」との言葉
は今も耳に鮮か。昭和三十
年のガット体制への加入に
て日本は今日の経済的高さ
を構築したが、数学でい
えば五千億ドルの黒字国。世
紀末に一兆ドルにもなろう
か。軍備と同じで危険な数
字となるが、今度こそ日本
人は経緯と英知を駆使して
うまくやれよう。
40 回 69 歳・藤森 治幸
世紀末といふは何か暗い
イメージ。そんな雰囲気は
全く感じられない二十世紀
末平成と改元され期待は、
政治、経済、社会の各方面
で大きくふくらんでいる。
二十一世紀を迎える時は八
十歳。高齢化社会とはい
え足腰が丈夫でいるだろ
うか。自己管理につとめ健
常に二十一世紀の初日を仰
ぎたいと思います。職業は博
物館関係、趣味は詩歌朗吟
の道に毎日精進し社会教
育、文化向上にささか努
力しています。二十一世紀
を迎えた時、若い人達と隔
てなく交流できることを夢
見ています。清水ヶ丘も伝
統と若々しさの共存する素
晴らしい学園であらう。

41 回 66 歳・新田 慎人
母校の校舎新築記念式典
に参加するため、久しぶり
に清水ヶ丘の地を訪ねた
が、我々の胸に切ない程に
焼きついて居たあの木造の
ボロ校舎はあとかたもなく
近代鉄筋校舎の偉容に驚
きの眼を見張ったが、まさ
に生きた筈である。そのつ
み重ねの彼方に、新たな世
紀が開かれる筈である。後
悔のない余生を更に重ねた
ものがありました。

42 回 66 歳・伊東 幸博
二十世紀は激動の世紀で
あり、技術革新が飛躍的に
進んだ時代であった。
やがて迎える二十一世紀、
木造から鉄筋に改築された
校舎の様面目を一新して

源国が相応の技術を持った
のをいわせて活躍中、同窓
時にはどうなるか。また金
持日本にどんな社会的問題
がおきるか予断を許さな
い。これ等を予見して適切
の節目でもある。第三千
紀の人類は、大地は何処ま
でも先へ先へと広がること
ができ、地下の宝は無尽蔵
であり、海は限りなく広く
深いものとして、地球を拓
いてきた。その地球も、今
や五十億の人間の群めき合
う宇宙船と認識せざるを得
なくなつた。思慮なき人間
活動は地球の自然を復元不
可能なまでに破壊すると警
告されている。我々は地球
環境の変動をより注意深く
忍耐強く監視し、地球の命
運を破局から救わなければ
ならない。新しい世紀に対
する我々の責任であり、我
が象徴も、しかとその一
翼を担わなくてはならな
い。

41 回 67 歳・三枝 正治
ソ連、東欧の変革によつ
て世界情勢は変り、軍備は
縮小、産業の振興と生活の
向上施策に重点が移る。
技術と製品の輸出増によ
り我が国も利益を得るが、資
料の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

41 回 67 歳・小嶋 秀壽
原宿の街道りで同窓生
と出会う。四十一回生であ
る私が、二十一世紀に健在
であるか、神のみぞ知る。
「今」を真剣に生き切中
に、過去も靡り、未来も自
づと見えて来るものと思
っている。
私は不動産の経営管理に
携わる傍ら、原宿の町を単
にヤングの街というだけで
なく、幅広い人達に愛され
る街造りのお手伝いしてい
る。六十四回生でラフォー
レ原宿館長の佐藤義久君と
出会った。彼は今正に台風
の目的な存在、若きにも

41 回 66 歳・野口 甫
厄年という事を言われ、
女性の三三歳、男性の四二
歳、すでに厄年が過ぎた者
でも、死にたいとは思わぬ

肥料・農薬
農業資材

飼料・雑穀
工業薬品

茶屋商事株式会社

代表取締役社長 小口 達雄 (42回)

本社 諏訪市大字中洲字曾根田4808
〒392 ☎ (0266)52-6500(代)

出張所 上伊那郡箕輪町中箕輪11896
〒399-46 ☎ (0265)79-8510
北佐久郡軽井沢町大字長倉2306
〒399-01 ☎ (0267)45-6114

同窓生も、その中に温かく迎えて貰って、未長く歴史の中につながついていると思うと、諏訪中学に籍をおかせて貰って本当によかったと思う。自治の灯も永く!! 人間になろう。東京の支部大会で女性の後輩に会えて感入。

◆ 44回64歳・原 敏
『総ての清陵生よ、本物のスポーツをやれ』勉強だ、けしていても人間を鍛えることはできない。短時間でよい、集中し、本気でスポーツに取り組め。
スポーツ技術は人生の大事な財産になり、体力、気力は生涯の支えになる。スポーツマンシップを身につけよ。即ち、人権、正義、公正の精神を。二十一世紀の指導者にはスポーツ能力が要求されるであろう。自らを鍛える以外に人生の勝利はない。

◆ 44回64歳・丸山 数馬
教育行政にかかわったものとして、今の子どもをみて願うこと。近年、核家族

十年後の間に答えられず、精々リニヤが諏訪を通り、十二世紀に九州迄延びて二時間で行けるだろうか。と想像する位が精一杯。原子刀、宇宙船、パイオやハイトクで二〇〇年後世の子どもがどうなるか先人の卓見は到底私には無い。

◆ 42回66歳・土橋 克実
自治・質実剛健の校風の下に多くの有為な人材を育み、世に送り出してきた諏訪中学校・清陵高校の存在は斯界に高い評価をうけてきた。今後ともそうありたい。最近の学校の風潮にやささか疑問を感じる。伝統に輝く風流は時代とともに実践の形は変わっても、その根本は新しい時代（人間が創造する）にも適用する不変不動の哲理であると思う。文明の発達とともに一層の国際化が進み世界の距離は近くなり、人間疎外の社会環境が各面で大増大する。これからの地域の期待される優秀を集める伝統校に望むは、知育、徳育、体育とバランスのとれた教育指導の下、国内外の激変に柔軟に対応できる豊かな人間性を持ちうる人づくりに重点をおいていつて欲しい。

◆ 42回・井上 彦次
平成元年九月十七日、秋晴れの日曜日に、全国から三千五百余名のランナーを集め、湖周道路の整備促進と諏訪湖浄化の願いをこめ、「第一回諏訪湖マラソン大会」が盛大に行なわれた。大会成功の裏に、後輩と共に湖周マラソンを走り続け、清陵高校OBの十六年に互る実績と、このメンバーが地域に根差して結成した「諏訪湖走友会」の活躍という大きな力が働いていた。思うに湖周マラソンの先覚者、恩師山本喜市・藤吉先生親子のつけた灯が、清陵高校の実質剛健の気風と相俟って形作ってきた伝統の賜物である。両先生の遺徳の顕彰の音が澎湃と起きつつある現況を注目したい。

◆ 43回65歳・林 嘉志郎
あとも十年で二十一世紀というテーマに接し、百年前を考えてみた。まず目に浮んだのは北欧の画家ムンクの「叫び」（一九三三年）であつた。血を流したような夕焼けの海で、両手を耳に当て目と口を大きく開け、身をよじつておびえている男の絵だ。また、「赤い墓草」（一九〇〇年）赤い草のようなる草にからみつかれた建物を背景に、傾斜の赤い土の男が正面を向いて立つて立っている絵。

◆ 44回64歳・小口 三郎
世紀末の行きづまった世相の中で死と生を見つめていたムンクは赤いぶきみな植物の跋扈におののいてたのに違いない。先年日本で開かれたムンク展は異常な反響を呼んだ。なにか気になる今であり未来である。

◆ 43回68歳・栗林 英雄
戦中戦後を通じて三度死の危機に遭遇したが何とか生き延び六十五年、自覚と誇りなく社会的には老人の部類に入つたがここ迄は先

化や母親の職場進出、少子化も進み、家庭や地域の教育力の低下が新たな教育課題となつてゐる。子どもの生活においては、さまざまな変化があらわれており、交友関係が稀薄になり、各自が家に閉じこもつて孤独化する傾向にある。豊かな人間性を育てることが課題であり、それには、教育活動で充実させる学校教育の在り方を考え直すこと。いきいきと学習する授業の創造に努め、地域に根ざし、地域を愛する心の育成、学校教育を生涯教育の一貫としてとらえ、老年期にも生きがいを求めるようなものを身につけさせたい。

◆ 44回63歳・高木 邦雄
いま、二十一世紀を目指して、政治・経済・社会・文化教育の各分野でドラチックな革新が進行。
国際化・情報化・新技術革新化・高齢化・ソフトサイバー化・新文明化・新文化の七つの構造と機能の大きな変化が、すべての社会で起ころうとしている。感じのいい

「人間性と科学と民主主義」の三つの尊重である。二十世紀は対立と闘争と混乱の時代であつたが、二十一世紀は三つの社会規範による人間同志の理解と信頼と協働による統合の時代。
同窓生もよい伝統と精神を生かし、新時代の創造を目指して活躍し、とくに政治の分野で若い人材を育成されるよう期待する。

◆ 44回64歳・遊坐 昭
いい中味を!! 落成総会のため久しぶりに新築の母校を訪ねた。総会は延々二時間に及び、退屈ともなつたが、役員の方々の熱意に押され懸命にお聞きした。ある先輩はこれからは「いい中味を」と強調された。当事者即ち先生方、生徒、同窓生一体となつて日夜努力しなくてはならない。私は今迄の経験から只一つ「気楽に挨拶を」という事をひきよせる接着力である。心は開かれ対話教育のチャンスが生れる。感じのいい

◆ 44回64歳・浅川 清栄
かつて「世紀末」という言葉が語られ、二十世紀に輝かしい未来を期待した。今世紀は人類始まつて以来の大量殺戮の時代であつた。いかに文明が進歩しようとも、所詮は「諸行無常」である。物質的な豊かさの

なで、「いのち」や「こころ」の大切さを忘れた時代であつた。
二十一世紀は、花が咲き乱れ、小鳥が囀り、胡蝶が舞い、風も歌う時代になつて欲しいと思う。それ自身が目的として大切にされ、森羅万象があるがままの姿で調和している地上の楽園になつて欲しいと思う。

◆ 44回64歳・岩波 篤雄
は、自分が年をとり過ぎてゐる。六十歳代にはそれなりの現在があり、過去にくらべてささやかであつても未来があることも否定し得ない。明日を考え、二十一世紀を思うとき、未来はひどく不透明、不確定であり、激動のうねに多くのことがますます巨大化、多様化の傾向を強めるだろう。その結果は平静と安定を求めるわけです。少ししかかりを待つてゐる医療の世界をみても平静と安定が必要とつくづく思う。

経済大国になった日本の物質的繁栄は、高い理想を追うことなく、一時的な安逸を貪る風潮を助長し、勤勉を善とするモラルは影をひそめた。精神面の荒廃は眼を覆うものがある。

◆ 42回65歳・小口 達雄
一九〇一年一月二日の報知新聞は『世紀中に「東京に在る者ロンドンと自由に話し、電話口に相手の姿を現る装置出るべし。又居るから欧州の天然色写真を見、新石炭は電気に代り、鉄道で東京神戸間二時間半、馬車は自動車となり、八〇日間世界一週は七日間で足る。蚊や蚤はなく、医療の進歩は電気針で薬液を注射し、X線で病源を摘発して治療すること自由となるべし……』と。九〇年前諏訪中学創立の頃の驚くべき先見である。本号編集者から

指導の下、国内外の激変に柔軟に対応できる豊かな人間性を持ちうる人づくりに重点をおいていつて欲しい。

◆ 42回・井上 彦次
平成元年九月十七日、秋晴れの日曜日に、全国から三千五百余名のランナーを集め、湖周道路の整備促進と諏訪湖浄化の願いをこめ、「第一回諏訪湖マラソン大会」が盛大に行なわれた。大会成功の裏に、後輩と共に湖周マラソンを走り続け、清陵高校OBの十六年に互る実績と、このメンバーが地域に根差して結成した「諏訪湖走友会」の活躍という大きな力が働いていた。思うに湖周マラソンの先覚者、恩師山本喜市・藤吉先生親子のつけた灯が、清陵高校の実質剛健の気風と相俟って形作ってきた伝統の賜物である。両先生の遺徳の顕彰の音が澎湃と起きつつある現況を注目したい。

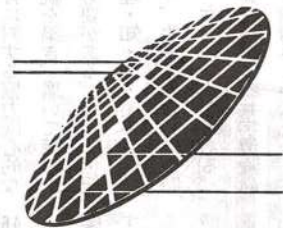
◆ 43回65歳・林 嘉志郎
あとも十年で二十一世紀というテーマに接し、百年前を考えてみた。まず目に浮んだのは北欧の画家ムンクの「叫び」（一九三三年）であつた。血を流したような夕焼けの海で、両手を耳に当て目と口を大きく開け、身をよじつておびえている男の絵だ。また、「赤い墓草」（一九〇〇年）赤い草のようなる草にからみつかれた建物を背景に、傾斜の赤い土の男が正面を向いて立つて立っている絵。

◆ 44回64歳・小口 三郎
世紀末の行きづまった世相の中で死と生を見つめていたムンクは赤いぶきみな植物の跋扈におののいてたのに違いない。先年日本で開かれたムンク展は異常な反響を呼んだ。なにか気になる今であり未来である。

◆ 43回68歳・栗林 英雄
戦中戦後を通じて三度死の危機に遭遇したが何とか生き延び六十五年、自覚と誇りなく社会的には老人の部類に入つたがここ迄は先

ず満足。永年の会社人間を引退した身にも大きな生甲斐を知つた。小学校の同級生に始まり我が人生の各段階に於ける数多くの先輩知友との緊密な交流である。現在必ず出席する各種例会だけで年間三十八、中には毎月只一度の休みもなく二十年以上続いて経済誌に紹介された会もある。交流の輪を更に広げこの混沌たる世の中せめて精神的な豊かさを共有して行くことに努めたい。

◆ 44回64歳・小口 三郎
終戦後の再出発の為、旧制高校から出直した。学問とアルバイトの狭間に在つて自己の再見直しの拠り所は諏中自治の延長と言うべき自治の灯火が旧制高校にも灯つていた事だつた。大卒後実社会に出て、自己規範の要になつていた様に思う。旧制高校も名のみ留め、その同窓会も最後の余燼が目眩の間に迫つてゐる。それにひきかえ清水ヶ丘の清冽な自治は清陵高校に引き継がれ、自分達諏中



高度な先端技術でオプトエレクトロニクスの新しい分野へチャレンジ!

常に技術の限界に挑戦する
日東光学株式会社
本社・工場 諏訪市湖南4529 / 上諏訪工場 / 東京営業所

病院 田中クリニック

院長（外科・麻酔科） 田中 正利（第52回）
副院長（内科・小児科） 田中マキ子

諏訪市元町18番11号 ☎ (0266)52-2343

44回62歳・小口 斌
反面人間性が失われて行く。経済面から見ればシェアの獲得のみに狂奔して内に向けて発し、その到達率を三十%とするのにかかると、アメリカ国内に於て同じメッセージを同一手段で発信し到達率を三十%とするには、コストが日本のほぼ五倍から八倍。日本経済の復興成長が目覚めたのは、諸外国に較べて情報コストが格段に安かったから。我々は今猛烈にそのしつぺ返しを受けている。単一族、同一言語、平均的教育水準がもたらした安いコストによる情報伝達のノウハウは、澎湃としておき過ぎて気魄がない。女性徒増加の影響か？建物自体は近代的で立派な施設づくめだが、教師陣の燃ゆるが如き情熱と生徒諸君の向学の気風とが火花を散らすような教育現場となり得るであろうかと疑念を抱く。温室育ちの人間造りであつてはならない。如何なる艱難辛苦にも耐え切らねば、質実剛健なる学友が輩出することを願う。二十一世紀に

45回63歳・土橋 道治
校舎新築記念式典参加。
清陵生の校歌斉唱はスローとして、教師陣の燃ゆるが如き情熱と生徒諸君の向学の気風とが火花を散らすような教育現場となり得るであろうかと疑念を抱く。温室育ちの人間造りであつてはならない。如何なる艱難辛苦にも耐え切らねば、質実剛健なる学友が輩出することを願う。二十一世紀に

46回62歳・小口 久市
ハイテク産業の一端に係る業界に居て科学技術の進歩は人間本来の伴せの為になつていくと考えさせられる側面をもっている。頭デッカチの足腰の弱い脆弱な人間の増え行くのを怖れる。科学の後退はないが、

47回62歳・小川 佳志
昭和五十七年四月から六年間、清陵高校のすぐ上の諏訪中学校にお世話になった。毎年二十五名前後の生徒を清陵高校に送った。合格者の発表があると月末にはきまつたように卒業生は先輩が私の学校の校庭に四月から入学する新入生と相集い交歓会の催しをするの

47回61歳・桑沢 和夫
「あと十年で二十一世紀を迎えるにあつて遺贈を過ぎて痛感することは、健康問題です。なほに！これ位のこと」と清陵精神で突っ張ることは年配の皆さんは止めにして。三年五

47回61歳・宮坂 和宏
昭和十六年入学、終戦の年昭和二十年卒業。学校では素晴らしい師との出会いが有りました。名物教師も多く軍事教練に始まり、勤労動員や勤労奉仕、農家の手伝、飛行場の建設、軍需工場や鉄道の敷設それに外人捕虜との鉄鉱石の焼結作業と学窓を離れる機会

48回60歳・金子 伸
ここ一〇年位の科学技術の発展は、さまざまな分野で驚異的。エネルギーは原子力の比重が高まる一方だし、情報は一瞬にして世界を駆けめぐる様になった。

49回60歳・山田 充彦
一九世紀は英国、二〇世紀の大半は米国が世界の覇権国であつた。米国に挑戦した日本も連も結局は挫折し、自由とデモクラシーの勝利となつた。だが絶頂は衰退・転落の始まりである。米国は経済の行き詰まりと社会的な不統一性（裏返せばオープン社会）のゆえにリーダーシップを喪失し

45回63歳・藤田 靖夫
季刊「信州の旅」とかわ版「松本わが町」の編集発行を中心に、単行本の発行とパンフレットなどの製作をしながら糊口をしのいでいます。妻と二人だけの仕事で楽しく充実した毎日。情報システムの発達はずさまじく、巨大なシステムによって人間の思考も生活も支配されそうな心配ですが、私の編集方針は「人間の魂は何ものにも支配されてはならない」です。ヒューマニティーと個性への回帰を叫び続け、文化とは何かを常に問いただしてゆく決意です。これからの日本は、自然に対する課題がクローズアップしてきます。先進国としての役割が重要です。

集うさとふる 浜の湯

全室諏訪湖が眺望できる12階建和風旅館

クラス会・同窓会 励ます会・壮行会 創立記念パーティ 出版記念パーティ ゴルフコンペ 各種謝恩パーティなど ご利用いただけます

政府登録国際観光旅館 浜の湯

〒392 諏訪市湖岸通り3330 ☎0266-880000

取締役社長 山崎 壮一 (51回) 取締役 山崎 澤子 (56回)

45回63歳・勝山 甲一
私の職業は写真撮影で、その写真は画像をAgに固定することが出来るようになつて百五十年になる。その応用技術がこの五十年で大進歩し印刷技術へ、それがIC製作へと進歩、化学から電子物理と代り、その結果、画像技術の製品も多岐多様になり、所謂写真も銀から電子へと移行しつつあり、十年後の小型カメラは電子写真化されると思う。十二年前に宇宙に打上げたボイジャー2号から今年微弱な電波で海王星の画像を送りコンピュータで鮮明な画像にした。今年も衛星を打上げ二十一世紀に同じく届くとのこと。画像の元々を作るにはレンズは当然代らないと思う。清陵も変らずに人材を次々と新しい時

45回63歳・藤田 靖夫
季刊「信州の旅」とかわ版「松本わが町」の編集発行を中心に、単行本の発行とパンフレットなどの製作をしながら糊口をしのいでいます。妻と二人だけの仕事で楽しく充実した毎日。情報システムの発達はずさまじく、巨大なシステムによって人間の思考も生活も支配されそうな心配ですが、私の編集方針は「人間の魂は何ものにも支配されてはならない」です。ヒューマニティーと個性への回帰を叫び続け、文化とは何かを常に問いただしてゆく決意です。これからの日本は、自然に対する課題がクローズアップしてきます。先進国としての役割が重要です。

46回62歳・小口 久市
清陵は三分の一は女子高生と聞いている。男子教育の長である。(洋画家)

45回63歳・小口 登
諏訪に生まれ諏訪を卒業して四十五年間、鮭が生まれた河に再び産卵に来るように私を清陵に誘う。誘惑は諏訪の歴史に匹敵する伝統と実績をもつ多くの教育機関や研究所・メーカーを経た今も衰えない。現在、女子教育に歴史と伝統を有する日本女子大学において教育に努めている。諏訪清

46回62歳・藤原 昭登
近ごろ、絵を描いて楽しむ人が増え結構だが、氣になつてゐる。先生、絵を描く方を教えて」という人が多いことだ。絵の描き方は、教えてもらうものであり方々を考へて。私の心の方は、自然や風景、展覧会などから、つかみとるものと心得ている私には、不意に思ひがたを教へて」と

46回62歳・増沢喜美夫
本部・東京支部・校舎改築完成記念の各総会に出席するよう常に心がけている。次のことが明確になり、清陵への感謝と愛着が深まるからです。

46回62歳・藤原 昭登
中から、諏訪清陵とは何か自問自答しながら、恩師の指導、友情の温かさ、質実剛健などが想起されます。

46回62歳・小口 久市
四十有余年間、電気通信の道一筋に歩いて二十一世紀を展望すればISDN

46回62歳・藤原 昭登
中から、諏訪清陵とは何か自問自答しながら、恩師の指導、友情の温かさ、質実剛健などが想起されます。

会長理事 山岡利平 (28回)
理事 宮坂久臣 (49回)
本店 長野県岡谷市幸町7番41号
TEL 岡谷(0266)23-4567

常務取締役 佐藤 国夫(62回卒) 常務取締役 江 黒 照 男(65回卒)
営業部主任 小松真知男(70回卒) 設 計 課 大 江 節 子(72回卒)
総 務 課 秋 山 由 美(89回卒)

57回54歳・大坪 靖

をいわせて企業の意志を強行したことを直接間接にしなければ聞く。今日、国際化命のほうにわれわれを探しているのだから、われわれのほうに使命を預けているのではない。(ハマージュ「ルド」)のであるから声なき声に耳を澄ませ、その時々を大切に生きてゆきたい。

54回52歳・金子 道子

女性を殆ど意識しない。あとも十年元気でいれば私の職業生活もその終結を迎えよう。

がえのない地球の資源を食い荒し、空には炭酸ガス、陸には廃プラスチックなど、現代の技術をもつてしても容易に解決できないエントロピーの固まりを地球規模で蓄積しています。モノの豊かさを求める限り、反原発は心情的には理解できても、現実的には理解できません。二十世紀は幸多く、更に永続的に人類の歴史を刻むためには、モノの豊かさには賛成せざるを得ません。

動機を、水墨画に専念して十年近い月日が経った。小生の師松本泰山先生の弟子に対する教育の基本が、我を捨ててことにあり、自意識の強い小生は今もって師に叩かれつつある。情報を押し流されて、一ヶ所にとどまり、一つのことをじっくり考えることが出来るかが描くということの根底で、とくに水墨画では、描く瞬間の純化された魂の色が墨色となつて現れるので、これは小生にとって人生の永遠の変わらぬ課題です。と同時にこのような水墨画の特質が、二十一世紀にむかっています。貴重なものになると思えてならない。(松本泰山水墨画会々員)

58回53歳・河野 達智子

58回53歳・宮坂 健二

59回51歳・小川 勝嗣

60回50歳・荻原 国宏

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

57回53歳・鎌倉 悦男

58回53歳・中谷 範行

62回49歳・青木 孝弘

63回47歳・柿沢 照紀

61回50歳・薩摩 正

MISUZU INDUSTRIES CORPORATION

●先進のメカトロニクスを追求する●

先進技術を通して、広く社会に貢献したい。

株式会社 ミスズ工業

【本社・諏訪工場】長野県諏訪市四賀3090番地
〒392 TEL (0266)52-6611代
FAX (0266)58-8810

【箕輪工場】上伊那郡箕輪町中箕輪1536番地
〒399-46 TEL (0265)79-8866代
FAX (0265)79-8877

関連会社
株式会社オプトランド
ミスズFA株式会社
株式会社東北ミスズ

代表取締役会長 山崎 壯一 (51回)
代表取締役社長 山崎 晃 (64回)

営業品目/腕時計部品・電子部品・精密金型・精密ロボットエンジニアリング

ミスズ工業の信念です。

快適な二十一世紀を目指
いくらかでも豊かになるよ
うに、そんな一心で頑張っ
てきた。気がついてみると
一人として今日も人知れず
都会のど真中でもくもくと
仕事に励んでいる縁の下
の力持が私の私である。

◆
64 回 47 歳・小松 史俊
次世紀の担い手となる子
供達を育てている小児科医。
現在の疾患は当然心配しま
すが、将来発生する心筋梗
塞の原因と推定される高コ
レステロール血症の子供達
が数多く、一人に一人位と
いわれています。みられ
ることは、安易な食事イ
ンスタント食品の多用、過
食、偏食、合成保存料を始
め現在の大人たちが残す
推定される環境汚染や自然
破壊、農薬を始め、炭酸ガ
スの増加、フロンガスによ
るオゾン層の破壊などを
考えると我々大人は次世代
に継ぐべき地球や、子供達
にもっと責任を持つべきで
はないかと考えています。

◆
64 回 46 歳・小松 修治
十月二十一日の新校舎落
成記念式典へ出席。学友会
長の挨拶を聞き、昔の記憶
が甦った。昭和三十四年、
二年生の秋、前校舎の落成
記念式典が行われた。私は
学友会長をしており、生徒
代表の挨拶をした。当時は
新築工事も今回よりもさら
に長期間にわたたり、入学時
から教室等はすでに新校舎
から教室等はすでに新校舎

◆
64 回 46 歳・伊東 勇美
企業に身におき二十五
年。社会人になって以来
折。信じられない、骨折が、
毎日のように起きている。
柔軟性もなくなりクラス
中で一番体が軟らかいのは
なんともこの私なのです。
手先の器用さなど人間の
完成度が年毎低くなってい
くように思え、時々悲観的
になる。

◆
71 回 39 歳・小林 正夫
二十世紀の中間点で産声
を上げ、団塊の世代に属す
る私達が通過して来た二十
世紀後半もあと十年、時の
流れの速さを感じる。
種々の社会変化の中で最
も大きな変化は、情報化社
会が発達し地球の丸さを感じ
なくなってきた点とマイホー
ム主義、個人主義の拡大で
ある。情報化社会が進む中
私についてみるとマイホー
ム主義というより個性主義
（雖千萬人吾往矣）の意識を
持つよう心がけている。
不惑の年代を通り抜けた
二十一世紀は、恐ろしくこ
このたわまりを持ち続けるこ
とができるのか、未知との
遭遇、世紀末にて T H E
E N D となるのであろう

◆
70 回 台
71 回 39 歳・三橋 ひさ子
小学校の教員をしていま
す。十七年になるが、初任
の頃とは確かに子どもたち
が変わって来ている。
骨折が多くなったこと
――まさに驚異的。幅とびで
しりもちをつき尾骶骨骨
折。高とびのエアーマット
の下敷きになり、足首骨折。
遭遇、世紀末にて T H E
E N D となるのであろう

◆
73 回 37 歳・林 俊子
西暦二〇〇〇年は、長女
が二〇歳（成人）次女が十
八歳（高校卒業）と、我家
せめまでも、人生に悔いの

想主義復権への努力は我々
の責任でもある。

◆
65 回 44 歳・伊藤 俊彦
教師受難の昨今。ヨタッ
商売と嘆かぬ日は無い。教
員二十三年目、年齢不惑を
越えるに六、肉体衰ふるを
かろうじて気力と技巧で算
段する昨今。二十一世紀は
五十八歳で迎える。その時
の我が姿、教壇に立ちすく
むか、偽キリストよろしく
殴られた反対側の頬を差し
出すか。やるせなき想いは
募るばかり。

◆
66 回 45 歳・山田 武海
今、NKK、京浜研究所
次長・鋼管研究室長。業務
範囲は水道管・ガス管・油
井管・ラインパイプ・ボイ
ラー用鋼管・原子力用鋼管
等の既存商品分野の他に、
半導体用クリーンパイプ・
極高真空用鋼・制振鋼材・
耐火鋼材・美観鋼材等と
驚くほど広い。終日机に座
っている日はない。新商品
分野の開拓と新顧客の開拓
に傾注。依頼講演も多い。
二十一世紀。恐らく何の
感慨もなく、人世の中の一
日として迎えるであろう。

◆
66 回 45 歳・生越 万理子
清陵の先輩や後輩の方
が、新聞等の人物紹介欄で
拝見する時には面識も無い
のに、大変な活躍ぶりだと
我事の様嬉しくなる。在
学時には余り話もしなかつ
た同級生や同年生も、今日
では、日頃の生活や、仕事
の事、これからの人生のこ
と、ゴルフやテニスの趣味
等を誇り合う機会に恵まれ
ている。明日への自分への

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
72 回 38 歳・小泉 悦夫
校舎改築記念式典の際、
南日紙上で一月にわたり
清陵特集を組んだ。雖千萬
人吾往矣、「金色の民」唐沢
山に秋長けて」のタイトル
で諸先輩方から原稿を載
き、伝統ある清陵の風雪の
歴史を一望する思いでし
た。東京支部総会にご招待
いただいた抗、肩を組んで
校歌をほり上げた時、胸に
こみあげてくるものがあつ
た。紙面の欄外も一九九〇
年に新しく変わり、あらゆ
る動きが「新世紀」を視野
におさめながら、二十一世
紀の活字が各紙に躍ってい
る。世紀末を一足飛びに駆
け抜けるような慌しい世情
に追われ、生きた歴史を刻
む思いですが、約一世紀を
画した「梶の葉」の脈打つ
先に、今と未来の自分を実
感する昨今です。

◆
75 回 36 歳・東城 一穂
数多くの秀れた先輩に恵
まれた清陵で学ぶことがで
きたことは幸せであった
が、清陵の精神「雖千萬人
吾往矣」は私の心の支えで
もある。産業界あるいは社
会生活において、学問や芸
術の世界と異なり、そうと
ばかり言ってはおれない。
先輩諸氏のような業績は残
せぬまでも、人生に悔いの

◆
75 回 36 歳・飯森 裕見子
同じ教職にある何人か
の元生徒達。彼らのことを
考えると、これほど力のあ
る若い人々がこの道を選ん
でくれたと喜びたいです
が、
丁度高校の課外活動が盛
上った時、彼女らは高
校生でした。他校受験希望
のわけが吹奏部にあると知
り、諏訪清陵に入り、熱意が
あるなら同好会から始める
ようにと説得したりもした。
「第一回目の部活の発表
です。」と清陵祭のプログラ
ムを届けられた時はほ
んとうれしく、楽し
い演奏会でした。諸先生に
も感謝で一杯です。このよ
うな良き一方、部活に熱
中し過ぎたのではとの思い
も。評価するには、時機
尚早ですか？

◆
68 回 43 歳・藤森 昭信
二十一世紀までの十年は
激励や友人への感謝が生ま
れ、清陵高校に在学したこ
とを有難く思う。社会の大
きな組織の中の一員として
活躍されている男性方も、
誰にもどうこうおから
やがて役職も肩書きも無い
一人の男性として過ごす
あう将来に、それ迄連れ添
われた奥様に、愛のメッセ
ージを送られる事をお願い
致します。

◆
68 回 43 歳・小松 喬
東大教官を辞し病院を開
設して早五年余、地元医師
会への加入もままならず、
孤立しながらも地域医療の
中核病院の実現を目指して
奮戦中。技術の高度化もさ
ることながら、思いやりの
ある医療を施すという医療
の原点を忘れてはならな
い。長寿社会を迎えようと
している中で、我々は命
健康を維持するに保険・
福祉政策の後退により次第
に個人の経済負担の増加を
強いっているが、経済的豊か
さに溺れ健康維持がレジャ
ー化することなく、もつと
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な

◆
69 回 41 歳・小沢 美枝子
「私にとって今そして未
来」というテーマを前にハ
廉価で効果のある健康維持
の指針を日常の生活の中に
立場の仕事を持たない単な



『真澄らしき』について一言
信州が生んだ天下の銘酒

とらわず、気取らず、さり気
なく、少しも飾りはないけれど、
真澄はなぜか暖かい。――ある
お客様からこんなお手紙を載い
て嬉しく思ったことがあります。
全国屈指の品評会入賞回数を
誇る酒蔵として、七号酵母発祥
の酒蔵として、真澄は常に酒造
りの正道を歩むことだけを考え
続けてきました。昔も今も私達
にとつて一番大切なのは、外見
を派手に飾ったり奇抜な個性で
人目を引くことではなく、原料
を厳選し、技術を磨き、妥協を
排除して、いつの日にか「天下
の銘酒」と呼ばれる酒を醸すこ
となのです。
地味だけれども文句な
しに旨い――そんな真澄
らしさを大切に、こ
れからも私達は美酒造り
の心と技を精一杯磨き続
けてまいります。

真澄

校舎改築事業につき、同窓会の皆様には物心両面にわたりご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

昭和二十六年に校舎全面改築に着手し同三十年完成。資材不足の戦後間もない時期の木造主体の建築は傷みが激しく、五十年代後半の生徒増による敷地、施設の狭隘は極めて切実な問題となっていました。

五十六年に県教委において、文部省基準による校舎耐力度調査を実施したところ、五十二年度に建設された格技室棟を除きすべての校舎が危険建物と判定。

五十七年三月校舎改築調査費が県議会にて予算化。同年六月同窓会を核に諏訪清陵高校校舎改築対策委員会を設立し、事業を行って参りました。

五十八年三月校舎改築、

氏が祝辞を寄せた。

この後、五味連長野支部長を議長に選出。記念事業報告が、井上総務委員長、藤森施設委員長、金子三沢文庫委員長、小菅募金委員長、木下事務局会計、小菅



校舎改築記念事業完成祝賀記念総会と祝賀会は秋晴れの平成元年十一月五日(日)午後一時、諏訪清陵高校講堂に全国から一、二千人参加申込者の同窓生が参集し盛大に開催。大事業の完成を祝い、諏訪清陵高校並びに同窓会の今後の発展を誓った。

総会は青木茂人(50回)氏の司会進行で物故者会員に黙禱のあと、石井同窓会副会長開会の挨拶、同窓会校舎改築記念事業実行委員長山田六一同窓会長が挨拶。来賓として、持田明夫学校長、三村秀夫(元校長)氏が祝辞を寄せた。

諏訪清陵高校校舎改築記念事業完成祝賀記念総会の記

記念総会運営委員長よりあり、承認された。続いて笠原富士雄学校事務局長より、校舎改築の経過報告。篤志寄付者、高額寄付者、製作者、業者十一人に感謝状を贈呈。受賞者を代表して藤森伝衛(31回)氏より

謝辞。小口副会長の閉会の挨拶で総会を閉じた。

引き続き諏訪清陵高校吹奏楽部により「若人に栄光あれ」「軽騎兵序曲」など三曲が演奏された。

終了後、清陵高校大体育館に会場を移し、記念事業の完成を祝って秋山宣夫(50回)氏の司会進行により祝賀会。高木岡谷支部長開会の挨拶、山田同窓会長挨拶、矢島五郎(元校長)氏

祝辞。野沢隆一(21回)氏ほかの皆さんによる鏡わり、古村敏章(18回)氏により乾杯、続いて祝賀、最後に武井秀夫(50回)氏の先導により校歌斉唱、中山茂(前校長)氏の発声で万歳三唱、小平東京支部長閉会の挨拶、再会を約束して散会。

この記念総会・祝賀会の運営は次の方々を中心に行なわれました。運営委員長 小菅重男(45回) 副委員長 有賀裕(50回) 祝賀会担当 山崎壮一(51回) 総会担当、平出公仁(52・55回) 受付担当、神山幸雄(56回) 展示担当、当番学年 50・51・52・55・56回、サブ学年 57・58・59回、事務局。また、総会出席申し込み会員には、記念品として平林舟鶴(37回)氏の書による「自反而縮雖千萬人吾往矣」の文字の入ったペーパーウェイト外を差し上げた。

(事務局 木下芳英記)

サンキョウは、産業社会を支える企業です。

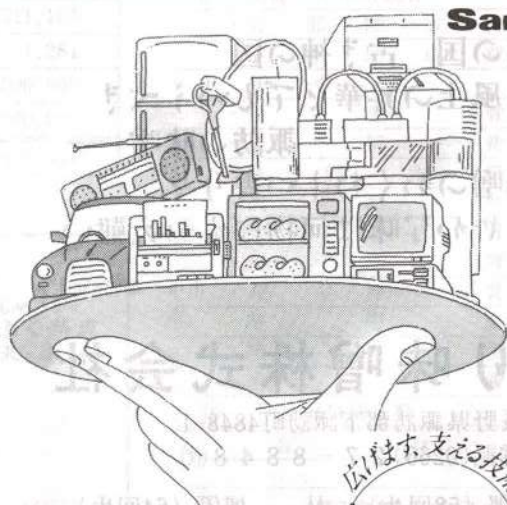
三協精機は、多くの製品を支える〈核〉=コアパーツ/コアユニットで産業社会に貢献しております。

技術革新にももって次々に生み出される製品の中核では、サンキョウのコアパーツ/コアユニットが陰の主役として活躍しています。サンキョウは、これからのFA・OA・オーディオビジュアル市場など多くの分野に対応するコアパーツ/コアユニットづくりを通して、技術新時代を迎えた産業社会に貢献してまいります。

オプトメカトロニクスの明日に挑む
三協精機
株式会社三協精機製作所

東京本社=〒105 東京都港区新橋1-17-2 Tel: 03-502-3711 FAX: 03-502-6228
本社下諏訪工場=〒393 長野県諏訪郡下諏訪町5329 Tel: 0266-27-3111 FAX: 0266-28-5833

大阪 名古屋 福岡 札幌 伊那 諏訪 静岡 アメリカ 西ドイツ スイス 香港 マレーシア シンガポール 台湾 韓国



電子機器
磁性機器
情報機器
制御機器
産業用ロボット
専用工作機械
オルゴール

諏訪清陵高校校舎改築事業経過報告

事務局長 笠原富士雄



校地拡張予算が県議会にて議決。地形的にみて基準面積の確保が困難で移転案もあったが、現地改築に落付く。予算総額は約三十三億円。内訳は、調査・用地取得・土地造成費十三億七千万円、教室等本工事十八億九千万円、解体工事・部室・自転車置き場・外構工事解体工事終了。第三期工事

等付帯工事が一億四千万円。五十九年十一月土地造成。校地拡張のため用地買収は地権者四十名、八、八〇〇平方メートル。平成元年十月二十一日諏訪清陵高校校舎改築落成記念式典並びに祝賀会開催。土地造成については、山を控えて急峻な地形で様々な問題が発生し当事者として、その対策に苦慮した。

平成元年9月14日以降寄付者御芳名(平成元年11月5日記念総会当日配布寄付者芳名簿に記載されている方)

上原久雄(20回) 一万円
安藤福一(37回) 三万円
林 俊彦(46回) 二万円
溝口源二郎(48回) 三万円
河村 弘(56回) 二万円
守屋武久(56回) 三万円
柿沢敏弘(60回) 二万円
柳沢忠志(60回) 三万円
小島 一郎(68回) 三万円
笠島信明(69回) 二万円
岩本和久(83回) 二万円
ご協力感謝します。



SUPER GENESIS



世界に先駆けて開発した数々のシステムを複合搭載。
「高品位&シンプル操作」を約束します。

希望小売価格(税別) ●本体64,800円 ●テレコンバーターレンズ(1.4倍)9,000円

チノン株式会社

本社/〒392 諏訪市高島1-21-17 TEL (0266) 52-2700
東京支店/〒160 新宿区西新宿6-6-3 新宿国際ビル新館6F TEL (03) 345-5631

校舎改築記念事業寄付金収支現計表

平成2年4月13日現在

収入総額	231,699,754円
支出総額	199,807,297円
差引残額	31,892,457円

収入の部

項 目	収入済額
1. 寄 付 金	208,548,673
・ 会 員 寄 付 金	156,948,673
・ 企業関係寄付金	51,600,000
2. 雑 収 入	23,151,081
合 計	231,699,754

支出の部

項 目	支出済額
1. 記念事業特別会計繰入	199,348,317
2. 郵便局振替手数料	458,980
合 計	199,807,297

差引残額

項 目	金 額
1. 定期預金	20,000,000
・ 八 十 二 銀 行	5,000,000
・ 諏訪信用金庫	10,000,000
・ 太陽神戸銀行	5,000,000
2. 普通預金	5,892,457
・ 郵 便 局	206,992
・ 八 十 二 銀 行	173,081
・ 諏訪信用金庫	5,511,103
・ 太陽神戸銀行	1,281
3. 商工中金	6,000,000
・ リ ッ シ ョ ー	6,000,000
合 計	31,892,457



代表 小口達夫
小口慶一郎(84回)
小口勝子(87回)

諏訪市湖岸通り5-17-6
TEL 0266 (58) 3515

記念事業会計報告

平成2年4月13日現在

収入総額	199,491,819円
支出総額	198,789,937円
差引残額	701,882円

収入の部

(単位:円)

科 目	収入済額
寄付金口座から繰入	199,348,317
雑 収 入	143,502
合 計	199,491,819

支出の部

科 目	支出済額
1. 清陵会館建設費	73,844,979
・ 清陵会館建設費	68,154,000
・ 清陵会館備品購入費	5,690,979
2. 周辺整備費	24,885,400
・ ブロンズ建設費(立川氏)	6,540,000
・ ブロンズ建設費(細川氏)	10,000,000
・ 詩 碑 建 設 費	4,817,400
・ 植 栽 費	2,965,700
・ そ の 他	562,300
3. (財)諏訪清陵会基金	25,000,000
4. 同窓会基金	40,000,000
5. 理科振興基金	5,000,000
6. 三沢文庫整備費	2,879,300
・ 備 品 購 入 費	2,874,300
・ そ の 他	5,000
7. 記念祝賀総会費	6,000,000
・ 繰 出 金	6,000,000
8. 支部・学年助成費	9,317,901
・ 支 部 助 成 費	1,078,000
・ 学 年 助 成 費	8,239,901
9. 募 金 費	10,927,357
・ 会 議 費	1,440,003
・ 通 信 費	2,969,916
・ 消 耗 品 費	580,695
・ 備 品 費	1,977,918
・ 旅 費	632,805
・ 印 刷 費	2,810,180
・ 人 件 費	240,000
・ 慶 弔 金	90,300
・ 繰 出 金	100,000
・ 雑 費	85,540
10. 同窓会旗購入費	935,000
合 計	198,789,937

記念総会特別会計報告

収入総額	11,057,202円
〈総会費・記念事業会計繰入金等〉	
支出総額	10,793,708円
〈記念品代、祝賀会費、案内状、CD製作費等〉	
差引残高	263,494円
〈一般会計の繰入れ〉	

諏訪清陵高校同窓会校舎改築記念事業報告

昭和五十九年十二月校舎改築記念事業大綱決定。

改築記念事業大綱を幹事会にて決定。六十年度定期総会にて実施計画承認。直ちに実行に移された記念事業も、会員各位のご協力により順調に推移し平成元年十一月五日諏訪清陵高校同窓会校舎改築記念事業完成記念総会の実施。

昭和五十九年十二月校舎改築記念事業大綱決定。改築記念事業大綱を幹事会にて決定。六十年度定期総会にて実施計画承認。直ちに実行に移された記念事業も、会員各位のご協力により順調に推移し平成元年十一月五日諏訪清陵高校同窓会校舎改築記念事業完成記念総会の実施。

昭和五十九年十二月校舎改築記念事業大綱決定。改築記念事業大綱を幹事会にて決定。六十年度定期総会にて実施計画承認。直ちに実行に移された記念事業も、会員各位のご協力により順調に推移し平成元年十一月五日諏訪清陵高校同窓会校舎改築記念事業完成記念総会の実施。

企業関係最終募金状況

(平成2年4月13日)

	企業数	入金額
合 計	150社	51,600,000円
本部扱い	20社	30,950,000円
支部扱い	130社	20,650,000円

支部扱い内訳

富士見	9社	490,000円
茅野	13社	2,540,000円
上諏訪	33社	7,360,000円
下諏訪	19社	1,610,000円
岡谷	42社	6,600,000円
上伊那	7社	400,000円
東京	7社	1,650,000円

みずうみの国 古き神の国
すわの風土の昇華とていいうべし
諏訪の味噌——
ひかり味噌のわぐわしい香りと
まろやかな味は何物にもかえ難い

市川一雄(56回生)

ひかり味噌株式会社

長野県諏訪郡下諏訪町4848-1
電話(0266)27-8848(代)

林 善八郎(58回生) 林 博優(64回生)



寒仕込みの限定品天然味噌「雅」をふるさとの季節の便りに御下命下さい。
最寄りの郵便局で「ふるさと小包便」をご利用下さい
カップ入りみそ「雅」(1kg×6個) 3,914円
(申し込み番号17-051-A・郵送料・消費税込み)
振替口座 長野 5-25932・ひかり味噌株式会社

支部だより

東海支部だより

母校改築の事業が同窓会の熱意によりみごと実現されたことに支部一同心から感謝し、喜んでおります。

二月三日、名古屋市千種区覚王山山荘にて、支部総会を開催し、百五十余名の会員が参加。経緯、その内容とくに第二次大戦末期の無暴力軍部の態度を痛烈な批判の目で話され、平和国家が如何に大切かを強調され改めて戦争の苦難をお互にかみしめた。総会は毎年二月第一土曜日に。総会に先立って会員のなかから講演をすることにしています。

長野支部だより

平成元年度長野支部総会が、三月二十八日に長野市山王共済会館で開かれた。

東京支部だより

築記念事業の経過報告を含めてのあいさつがあり、白沢先生から学校の現状と進捗状況、更には、現在高校生気質などに触れたあいさつ。

昭和二十五年清陵高校に女子が初めて入学した、戦後六三制の第一期生である。

五十名が出席し、本校から白沢教頭先生をお迎えし、五味支部長から校舎改

諏訪支部だより

平成元年度長野支部総会が、三月二十八日に長野市山王共済会館で開かれた。

上伊那支部だより

元年度支部総会は四月十二日(土)辰野公民館にて開催。出席者三十回生の反省と今後の問題点について八十回生まで四十九名、来賓、本部より井上総務、木下・小口両先生、議事四件審議の後、六五回生の業績に関する書籍が出版され、我々後輩を叱咤激励の演説、時宜をえたお話し。

富士見支部だより

平成元年度の支部総会を二月二十七日夜七時より恒例の駅前油屋旅館で開いた。出席は二十名。学校より木下先生、本部より井上総務委員長が出席。井上総

岡谷支部だより

岡谷支部総会は、三月二日(金)ホテル岡谷にて午後六時より開催された。当日は雨模様の日であったが、約百余人が出席。

茅野支部

昨年一〇月一八日支部幹事を橋食堂に於いて開催する。主として一月行なわれる校舎改築完成式典への参加を同窓会員に徹底することとする。

校歌CD (コンパクトディスク)

諏訪清陵高校校舎改築記念

・校歌〈第1、第2〉清陵祭の歌、清陵賛歌、応援歌、学生歌、鎮魂曲、諏訪郡歌、信濃の国収録

1枚1,000円(送料300円)

「自反而縮雖千苑人吾往牟」

(平林舟鶴書)刻字

ペーパーウェイト

〈アンチモニ製文鎮〉

校舎改築祝賀総会記念

1個1,000円(送料500円)

※申込みは、現金書留で諏訪清陵高校同窓会事務局へ

水晶時計

株式会社 竹 本

長野県茅野市宮川4900 ☎(0266)72-6111(代)

自動組立機の

マイクロエンジニアリング株式会社

長野県茅野市金澤5387-1 ☎(0266)72-6551(代)

代表取締役社長 花岡 健雄 (46回)
代表取締役専務 立木 嘉彦 (46回)
常任監査役 小川 善弘 (46回)

い味ちがいす



タケミソ

株式会社 竹 屋 長野県諏訪市湖岸通り2丁目3番17号 ☎(0266)52-4000

取締役会長 藤 森 傳 衛 (31回)

取締役社長 藤 森 郁 男 (62回)